

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	143
事務事業名		環境汚染対策事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画(21'いいだ環境プラン)	
法令・例規等			環境基本法		
			騒音規制法		
			悪臭防止法		
事業目的	対象	市民の生活環境			
	意図	環境汚染が発生しない良好な生活環境の維持			

2 事業内容

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易浄化槽の適正な管理のために啓発・指導に取り組みました。 ・市内の主要な河川・地下水(井戸水)の水質検査を実施し汚染状況を確認しました。 ・リニア中央新幹線工事に伴う地下水への影響を把握するため、関係地の地下水の水位等を調査しました。 ・自動車騒音、悪臭、その他の測定により実態を確認しました。 ・環境汚染の発生に対し、長野県をはじめ関係機関と連携して速やかで適切な対応に努めました。 	生活雑排水汚泥汚泥処理関連経費	1,209
河川水質保全関連経費		3,946	
地下水水質管理関連経費		1,874	
小規模水道管理費		98	
騒音・悪臭その他公害防止対策費		4,237	
その他の経費		0	

活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			生活雑排水汚泥汲取量	kl	280	108.5	280	88.5	220	118.2
河川のBODの目標の達成率	%	100	100	100	95.5	100	100			
市が斡旋する井戸水検査受検世帯数	世帯	200	183	200	227	200	233			
騒音の環境基準達成率	%	70	60	70	80	80	80			
悪臭の防止目標の達成率	%	100	100	100	100	100	100			
微小粒子状物質(PM2.5)の現状と動向	基準達成・未達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成			

1年度決算(千円)	予算額		12,391	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額		11,364						
	財源の状況	国庫支出金	0						
		県支出金	0						
		地方債	0						
		その他	0						
一般財源		11,364							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	11	2	1,736	1,209	生活雑排水汚泥処理事業費
2	1	4	1	5	11	3	4,207	3,946	河川水質保全事業費
3	1	4	1	5	11	4	1,937	1,874	地下水水質管理事業費
4	1	4	1	5	11	5	144	98	小規模水道管理費
5	1	4	1	5	12	1	4,367	4,237	騒音・悪臭その他公害防止対策費
6									
7									

振り返り課題認識	<p>①公害問題は減少傾向にありますが、平成30年の市内製造業の有害物質地下漏洩など、影響の強い事故に迅速に対応できる体制づくりが必要です。</p> <p>②リニア工事による環境影響調査のために、工事が本格化する前に河川・地下水などの現状調査を行っておく必要があります。</p>
上記の課題解決のための有効策	<p>①まず、日々の公害苦情に、迅速に真摯に対応することが事故対応の基本となります。さらに大事故を想定したマニュアル作りを行い、そのシミュレーションを行います。</p> <p>②リニア工事影響区域での定点観測を業務委託によって確実にいきます。</p>
次年度に向けての取り組み	<p>①公害苦情に対する迅速な対応と、原因発生者への適切な指導により再発を防ぎます。</p> <p>②リニア工事本格化に伴い、水に加え、大気や騒音の影響調査を進めます。</p>